



【学会通信 No. 60】 2011. 3. 1

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

日本プロテオーム学会会員の皆様

網羅的発現解析をトピックスとして、「多層的オミックス解析による診断と治療の標的分子の探索:その最新事情」が、本年4月27日(水)に品川コクヨホールにおいて開催されます。網羅的解析のそれぞれの分野における研究者の方に網羅的解析によるバイオマーカー解析と創薬探索の現状をご紹介いただき、網羅的解析によってどのような新しい知見が得られ何がどこまで解明されたのか、これからどのような課題が残されているのか、を語っていただく、という趣旨です。

中島元夫先生(SBI アラプロモ株式会社)をオーガナイザーとし、基調講演として次の講演者が予定されています。林崎良英先生(理化学研究所)「講題調整中」、近藤格(国立がん研究センター)「プロテオーム解析による個別化医療のためのバイオマーカー開発」、曾我朋義先生(慶應義塾大学)「メタボロミクスによる新規肝臓疾患マーカーの発見」、油谷浩幸先生(東京大学先端科学研究センター)「ゲノム・エピゲノム解析の現状」、成松久先生(産業技術総合研究所)「グライコプロテオミクス技術を駆使したバイオマーカー開発」。

参加には事前登録が必要ですが、3月31日までの申し込みで参加費は無料となります(4月1日以降は有料を予定)。

参加をご希望される方は、下記のホームページにアクセスいただき、「参加申込」のページよりお手続きください。

http://www.dialogue2005.com/omics_2011/index.html

どうかよろしく申し上げます。

近藤格
創薬プロテオーム研究分野
国立がん研究センター研究所